

## 第6投目：×はテングハギモドキで…

2013.5月某日、私が今シーズン最後の釣行と決め、クラブメンバーと向かった先は徳之島トンバラ岩でした。風は北からの微風で波も1m、絶好のトンバラ日和です。古仁屋港を朝5時半に出航した渡船は約1時間30分かけて壮大な景色をかもしだす荒磯に到着！カメ瀬、高瀬、中瀬、長瀬とそれぞれ思い思いの磯へ良型クロへの期待を胸に渡っていきました。



さて、私が今回仲間と二人で降りた場所はカメ瀬と呼ばれる石、徳之島トンバラの中でも屈指の日でなければなかなか乗ることができないA級磯です。前に一度数時間だけ降りた経験がありますが、とにかく潮が力強く見えた魚が大きかった…というのが残っている印象でしょうか。

朝一は下げ潮、高瀬との間を左に流れる潮は湧き潮になるほど強く、仕掛けを入れるのも複雑な潮にラインがとられ大変な状況です。掛けると一苦労するような良型のテングハギモドキやサンノジ、イスズミは手前から沖に流れ出る撒き餌を視認可能なタナで拾っていますが、なかなかアタリを出してくれません。結局、下げ潮の時間は北側の船着けでウメイロを数匹釣ったのみでクロの姿も見えないまま終了、潮が上げになる潮変わりに何かの変化を期待しました。

潮が徐々に緩みだし、魚が出てくる向きが変わりました。目に見える海の変化、魚の喰いにも影響するのでしょうか。相変わらず沖で撒き餌を拾っているテングハギモドキの場所に8号という太めのハリスを流しこんでいきます。するとそれまで付け餌にはいっさい見向きもしなかった魚がオキアミの頭をかじるようになります。それから数投後、ついに朝から翻弄され続けた用心深い奴を掛けることに成功！クロ釣り用に設定しているドラグは滑り、竿は4回も伸され、その度レバーで竿の角度を立て直すやり取りを実行…(笑)上腕筋を疲労困ぱいにされながらも、

なんとか実寸55cmのテングハギモドキをゲットです。

しかし70cmはあろうか？という大型も数匹見えており、釣ったのは子分といったところでしょうか。まあこの魚を釣りに来ているわけではありませんが、豪快で原始的な雰囲気な漂わず磯で、大きな魚とやり取りができたことはそれなりの楽しさがありました。

結局、ぱっとしない釣果のまま今シーズンラストの釣行は納竿となりましたが、私が今シーズン目標としていた①50cmオーバー2枚以上 ②オープン奄美チヌ・クロ釣選手権クロの部入賞は、二つとも達成することができ、過去にない充実したシーズンを送れたことは嬉しい限りです。来シーズンも安全な釣行と嫁の顔色に留意しながら、恵まれた奄美の自然を磯釣りを通して満喫していきたいと願いつつ今季のペンを置きたいと思います。

